



## 出火・延焼を防ぐ防火対策の重要性

- \* 消火器や火災警報器、漏電遮断器、感震ブレーカーなどの設置を合わせて行うことが効果的
- \* 避難する際はガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落とす

## 防火設備



### 住宅用消火器（小型消火器）置場

- ・ キッチンの近く
- ・ 廊下や玄関など取り出しやすい場所
- \* 使用期限を確認し期限切れは更新する
- \* 取扱い方法を習得しておく



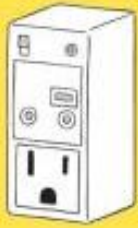
### 住宅用火災警報器

- ・ 寝室や台所などの天井に設置
- \* 正常に動くことを定期的に点検ボタンを作動させ（警報が出る）確認する



### 漏電遮断器

- ・ 分電盤に設置されており異常電流が流れると電気を遮断させる。
- \* 設置されていることを確認する



## 感震ブレーカー

- ・地震による強い揺れを感知して遮断する機器（市販されている）
- \*地震による家具等転倒により電気設備（電気コード他）が破損して、復電した際の電気火災を防止する

## 防火チェックシート

- 電気
- 電気コードはカーペットや家具の下敷きになっていない。
  - 不用な電気機器のプラグは抜いている。
  - 電化製品のそばに水槽や花瓶などを置いていない。
  - 分電盤の位置を把握している。

- ガス
- プロパンガスのボンベは転倒しないよう、チェーンなどで固定している。
  - 東京ガス・プロパンガスの場合、マイコンメーターが有効期限内である。
  - コンロのまわりは整理整頓され、燃えやすい物を置いていない。
  - ガスホースが劣化していない。

- 石油  
ストーブ
- 石油ストーブのまわりに燃えやすい物は置いていない。
  - 石油ストーブの転倒防止を行っている。

- そのほか
- 廊下や階段など、避難経路になる場所に燃えやすい物を置いていない。
  - 隣の家と接している箇所に金属製の雨戸や網の入った窓ガラスを設置している。